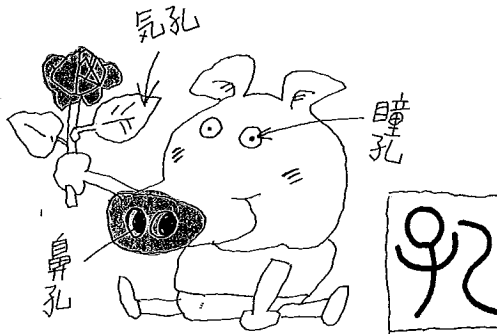


孔

4画
子 孔

「右上へはらう」
なりたち 子（こ）どもが乳（ち）を吸（す）っている形（かたち）を表（あらわ）した字（じ）で、乳（ち）の出（で）る「あな」の意（い）味（み）に用（もち）いられる。



▼あな。瞳孔（こう）：目の中央（ちゅう）にある小さなあな。光線（こうせん）が目（め）の中（なか）に入る入り口（いりぐち）。
鼻孔（びく）：鼻（び）のあな。用（もち）例（れい） 良い香（か）りに鼻孔（びく）をふくらませる。

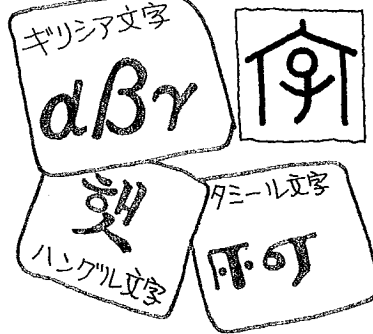
孔版（こうばん）：謄写版（ちやうしやばん）と同じ。原紙（げんし）の表面（ひょうめん）を傷（や）つけることによつて印刷（しよつ）するやりかた。
氣孔（きこう）：植物（しょくぶつ）の葉（は）裏（うら）にある小さなあな。空（くう）気（き）や水（みづ）分（ぶん）の出（で）し入れ（いれ）をする役（やく）目（め）をしている。
▼中国（ちゆうごく）の姓（せい）の一つ。特（とく）に儒教（じゆうきやう）の始祖（しそ）、孔子（こうし）をさす。
孔孟（こうもう）の徒（と）：儒學者（じゆうがくしゃ）の意（い）味（み）。孔子（こうし）・孟子（まうし）が儒教（じゆうきやう）の代（だい）表的（てきてき）な学（がく）者（しや）だから。



字

1画
一 年
6画
一 一 一 一 一 一 一 一 字 字

なりたち 一（いち）（家（け））と子（こ）の会意（かいい）字（じ）で、子（こ）を生（な）むたための産（う）室（しつ）を表（あらわ）した字（じ）。象形（じやうけい）や指事（しじ）によつて作（つく）られた「文（ぶん）」に對（たい）して、その組（くみ）み合（あ）わせた「文（ぶん）」に對（たい）して「字（じ）」といつた。



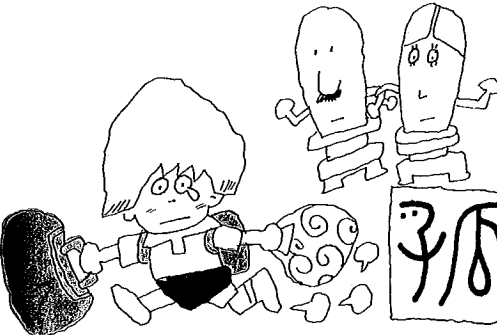
▼「ことばを表す記号（きごう）」。
文字（ぶんじ）：ことばを目（め）に見（み）える形（かたち）で表（あらわ）したもの。
漢字（かんじ）：中国（ちゆうごく）で発明（はつめい）された文字（ぶんじ）。中国（ちゆうごく）から日本（にっぽん）に伝（た）わつて現（げん）在（ざい）も使（つか）われている。また、ひらがな・カタカナは漢字（かんじ）から作（つく）られたものである。
ローマ字（ろまじ）：古代（こくたい）ローマ（ろま）で作（つく）られ、現在（げんざい）欧米（おうべい）で用（もち）いられているAからZまでの文字（ぶんじ）。
字画（じやうが）：漢字（かんじ）を形成（けいせい）する線（せん）や点（てん）。また、その数（かず）。（例（れい）えば「字」の字画（じやうが）は六画（りくが））

字義（じぎ）：字（じ）の持（も）つている意（い）味（み）。
字訓（じくん）：漢字（かんじ）の日本語（にっぽんご）としての読み方（よみかた）。
字音（じおん）：漢字（かんじ）の本来（ほんらい）の読み方（よみかた）が日本風（にっぽんふう）になつたもの。
よみかた 字句（じく）・字形（じけい）・字体（じたい）・字典（じけん）・大字（たじ）・活字（かくじ）・習字（じゆじ）・数字（ずじ）・正字（せいじ）・題字（だいじ）・名字（めいじ）・略字（りやくじ）

孤

9画
了 子 孑 孓 孤 孤 孤

「右上へはらう」
なりたち 個（ひと）りの意（い）味（み）の瓜（うり）と子（こ）との会意（かいい）形声（けいせい）字（じ）。両親（りやうしん）を失（な）つた幼（お）いひとり子（ご）を表（あらわ）した字（じ）。



▼両親（りやうしん）を失（な）つた幼（お）い子（ご）。みなしご。
孤児（こじ）：みなしご。
▼助（たす）ける者（もの）がいないこと。ひとりぼっち。
孤獨（こどく）：ひとりぼっちであること。

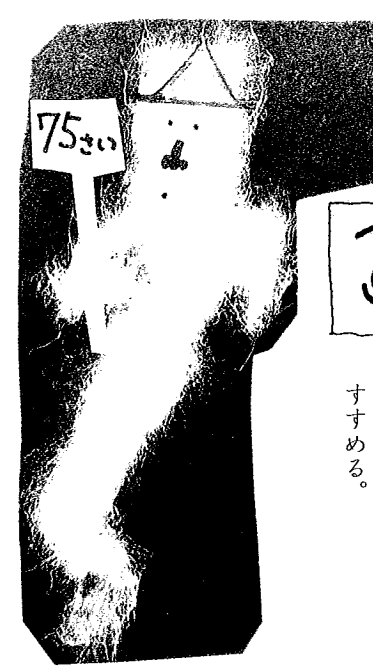
孤軍奮闘（こぐんふんとう）：援軍（えんぐん）なしに闘（たたか）うこと。転（てん）じて、助（たす）けてくれる人もなく、ただ一人（ひとり）で努力（どりょく）すること。
孤高（ここう）：孤獨（こどく）で超然（じゆうぜん）としていること。一人（ひとり）だけ拔（は）きんでいていること。
孤影（こえい）：ひとりぼっちの寂（さび）しい姿（すがた）。
例（れい） 孤影（こえい）悄然（じゆうぜん）（孤（ひとり））
孤立無援（こりつむえん）：ひとりぼっちで助（たす）けてくれる人もいないこと。
よみかた 孤城（こじやう）・孤島（ことう）・孤壘（こるい）



享

8画
一 一 一 一 一 一 一 一 享 享

なりたち 先祖（せんぞ）の位牌（いはい）の形（かたち）を表（あらわ）した字（じ）。下（した）の部分（ぶぶん）が子（こ）という字（じ）に似（に）ているため、今の字（じ）になつた。先祖（せんぞ）を供養（くやう）して先祖（せんぞ）がこれ（こ）をうけること。



▼供（たま）えものを受（う）ける。さずかる。
享樂（きやうらく）：楽（たの）しみを受（う）ける。じゆうぶん楽（たの）しむ。楽（たの）しみ。
享受（きやうじゆう）：うけ取る。うけ取（と）つて楽（たの）しみを味（あじ）わう。
享有（きやうゆう）：受（う）けとつて身（み）に保（たも）つていること。生（な）まれながらに（権利（けんり）・能力（のうりき）などを）持つていること。
享年（きやうねん）：天（あま）から受（う）けた命（いのち）の長（なが）さ。死（し）んだ時（とき）の年（とし）齢（れい）。
▼供（たま）えものをする。もてなす。すすめる。

字 享